





順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 沼倉昭仁	<p>地方公社、第三セクターなども含めた自治体活動の全体像を正確につかむため、財政の健全性の新しい指標として自治体全体に関わるものが4つ、公営企業に関するもの1つが導入された。</p> <p>財政再建が話題になる案件は、自治体が出資又は出捐（しゅつえん）している外郭団体がほとんどであるため、指標の公表の仕組みを活かした外郭団体の情報開示や外郭団体も含めた自治体財政への監視体制の整備・充実が求められている。</p> <p>現実に経営が厳しい病院や上下水道などの地方公営企業や地方公社、第三セクター等の経営改善を視野に入れながら、財政の健全化のために、外郭団体への経営評価・監査機能をどのように強化していくのか、市長の所見をお聞かせ願います。</p>	
3	7番 山田裕一	<p>1 風間市政、1期4年間の成果をどのように把握されているのか</p> <p>市長は、第352回白石市議会定例会、冒頭の所信表明の中で「共汗、共学、共生」をキーワードに市民総参加のふるさと共創を掲げ、未来の子どもたちに誇れる活気と活力にあふれた心豊かなふるさと白石を創造していきたい。と提唱されたが、この1期4年間の間を振り返って、4年間の成果をご自身で点数をつけるとしたら何点をつけられるのか。また、どんな4年間だったのか。お聞かせ下さい。</p> <p>2 戦略的な企業誘致活動の展開について</p> <p>去る、8月26日の河北新報朝刊一面にNECトーキンがハイブリッド車などのリチウムイオン電池の電極生産を拡大するため、第二の生産拠点の候補地に白石などが挙げられているとの報道がなされた。例えば、行政、民間デベロッパー、金融機関等などのメンバーからなる企業誘致推進連絡協議会などを結成し、戦略的な企業誘致活動を展開していく必要があると思うが市長の所見を伺います。</p> <p>3 本市の雨水対策について</p> <p>近年の集中豪雨は、降雨範囲が大変に局所的であり降雨時間が短く、単位時間当たりの降雨量が多い。といった特徴がある。このようなごく限られた範囲に集中して一度に降る雨をゲリラ豪雨と呼び、ひとたび発生すれば、市民の生命・財産が危険にさらされるとともに、ライフライン等に被害が出れば多くの市民に影響を与えることは間違いないと思われるが、本市の雨水対策は、どのようなものか伺います。</p> <p>4 全国学力テストの結果をどのように本市の学校教育に活かすのか</p> <p>文部科学省が全国的な義務教育の機会均等と、その水準の維持向上の観点から各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することによ</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>





順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	17番 大町栄信	<p>1 農業生産資材高騰対策について</p> <p>今、農家は急激な生産資材の高騰による生産コストに頭をいためております。経営の安定対策等考えながらも対応策がみあたらずの現状です。各生産者団体などと話を聞いて支援策を考えているかお伺いします。</p> <p>2 介護予防事業について</p> <p>要介護者が年々増加していくなかで、施設に頼るのにも限りがあり、利用待ちが多くなっていると聞く。今後益々介護予防によって健康、体力の保持増進を図っていくべきである。</p> <p>現在行政も数々の事業を行って積極的に取り組んでいる。さらに地域全体への普及を図って、利用者の拡大への考えをお伺いしたい。</p>	市長  市長
9	12番 四竈英夫	<p>1 スパッシュランドパークのシバザクラなど、花木類の整備について</p> <p>スパッシュランドパークは、白石市の奥座敷である小原温泉の活性化とスパッシュランドとの一体的な利用を図り、リゾート型の総合公園として平成9年4月に開設されました。</p> <p>しかし、近年メインの花であるシバザクラの欠株等が目立ち、訪れる観光客を失望させています。</p> <p>ここで再び、ピンクの絨毯を敷きつめたような、見事なシバザクラ公園を復活させ、観光客の期待に応えられるような対策を講ずるお考えがないか、お尋ねいたします。</p>	市長
10	8番 安斎多実男	<p>1 住民自治型福祉施策について</p> <p>福祉施策における、「自助・共助・公助」の中で、老人クラブ活動等の自助。サービス提供型、施設利用型等の公助が福祉施策の中で目に付いているが、今後扶助費の増加、高齢・少子化の中で、共助の部分の住民が主体となって健康・福祉・生きがい作りを運営出来る、住民自治型福祉施策が重要になるのではと思うが、市長のお考えをお聞きしたい。</p>	市長
11	16番 平間知一	<p>1 中島踏切問題</p> <p>近隣市町村の総合アクセスを円滑にする目的で施行している、白石柴田線の中島踏切の道路拡張と歩道設置問題でございます。一般通行人や児童、生徒の通学路にとっては、踏切内の幅が狭く歩行困難であり、事故が怖いため通行車両の往来の時には、踏切内の通路を歩けず線路を横切っている状態であります。特に、朝、夕などは仙台～白石・白石～仙台方面の通勤者の車が多いにもかかわらず、踏切内が狭いために、車が片側だけしか通れず渋滞しており、道路交通に大きなネックとなっておりますが、なかなか解決方法を見出せないまま現在に至っております。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	16番 平間知一	<p>(1) 人に優しい道づくりの観点から、中島踏切の大幅な交通渋滞の解消、踏切事故の解消のためにも踏切拡幅、歩道設置が必要であります。今後、市としての取り組みについてお伺いします。</p> <p>(2) 予算ですが、平成17年11月から県の予算が休止となっておりますが、いつ重大事故につながるかも知れないととも危険性のある踏切であります。早急を実施できるよう、再度、県に働きかけていただきたい。</p> <p>(3) 今後NECトーカーは電極生産を拡大するため白石事業所を候補地に挙げているが、「4万人都市復活大作戦」のためにも、白石に設置場所が決定されることを期待します。しかし、当市に決定すれば、仙台方面からの通勤者は中島踏切を通るようになり今まで以上に交通が渋滞することが予想されます。その点についての考えをお伺いします。</p>	